

「美容センサス2022年下期」から読み解く！ 【コスメ・美容医療】から見える消費の兆し

対象：15～69歳男女の過去1年間における「美容意識・コスメ・美容医療」に対する意識・利用実態を調査
(男女各6,600サンプル/人口20万人以上居住都市) 期間：2022年8月10日(水)～8月19日(金)

POINT

1

「アイブロウ」の年間購入率が前年から増加 購入ランキング同率1位に浮上

コロナ禍のマスク生活で注目されてきた「目元のメイク」。コロナ禍前(2019年)と比べて、購入率の順位が上昇し、2022年の調査では、メイクアイテムの年間購入率の同率1位に「アイブロウ」がランクアップ。消費者からは、「マスク生活は眉毛を描くだけで化粧しているように見られたから」(20代女性)など購入の理由が挙げられている。「アイシャドウ」「アイライナー」の目元メイクアイテムもコロナ禍前よりも順位が上昇。

【女性】メイクアイテムの年間購入率*

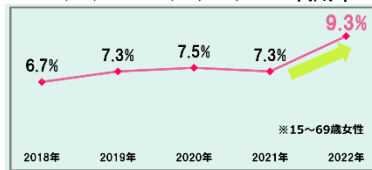
*購入率…1年以内にメイクアイテムを1個以上購入した割合
≪美容意識・購買行動編≫P.5、資料編P.25

2019年		2020年		2021年		2022年		(pt)
1位	ファンデーション	1位	ファンデーション	1位	ファンデーション	1位 ↑	アイブロウ	2.4
2位	口紅・グロス	2位 ↑	アイブロウ	2位	アイブロウ	1位	ファンデーション	1.5
3位	アイブロウ	3位 ↓	口紅・グロス	3位 ↑	下地	3位	下地	3.1
4位	下地	4位	下地	4位 ↑	アイシャドウ	4位	アイシャドウ	1.8
5位	アイシャドウ	5位	アイシャドウ	5位 ↑	アイライナー	5位	アイライナー	2.2

研究員解説

目元美容は、サロン利用率の上昇にも！20代女性の5人に1人が「アイビューティーサロン」を利用

アイビューティーサロン利用率



「美容センサス2022年上期<アイビューティーサロン編>」P.3

メイクアイテム購入率1位(同率)に上昇した「アイブロウ」。コロナ禍で目元を重視した美容は、サロン利用の上昇にもつながっています！アイビューティーサロンの利用率(過去1年間のサロン利用率)は、2022年に9.3%と最高値に。さらに20代女性の5人に1人はアイビューティーサロンを利用(21.6%)しており、マーケットが拡大しています。

(『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子)

POINT

2

脱マスクを意識!? ベースメイク、口紅・グロスの購入率&購入金額が増加！

目元メイクシフトの一方で、「脱マスク」を意識した調査結果も。「マスクを外した時に、メイクやスキンケアで注力する部分」の1位は「ベースメイク」、2位は「口元のメイク」。口紅・グロスの購入率は20代、30代を中心に前年から増加しており、年間購入金額(5,470円)も786円の大幅増加。

また、下地、ファンデーション、コンシーラーなどのベースメイクの購入率、購入金額も前年から増加。

【女性】マスクを外した時に、 メイクやスキンケアで注力する部分

順位	注力する部分	%
1位	ベースメイク(化粧下地、ファンデーション、コンシーラーなど)	44.1%
2位	口元のメイク(口紅、リップグロスなど)	37.5%
3位	スキンケア(肌のハリ・ツヤ)	28.7%
4位	スキンケア(シミ・くすみケア)	26.4%
5位	目のメイク(マスカラ、アイシャドウなど)	24.1%

≪美容意識・購買行動編≫P.4

【女性】ベースメイク、口元のメイクに関するメイクアイテムの 購入率と購入金額(抜粋)

	(%)		(pt)		(円)	
	購入率	前年差	年間購入金額	前年差		
ベースメイク						
下地	41.8	3.1	4,848	168		
ファンデーション	50.4	1.5	6,867	315		
コンシーラー	23.7	2.9	3,409	496		
口元のメイク						
口紅・グロス	32.8	1.9	5,470	786		

≪美容意識・購買行動編≫P.5、P.7

POINT

3

男性のメイクアイテム購入がビジネスパーソンにも広がる!?
30代男性の購入率が前年から大幅増加、ベースメイクを中心に購入

≪美容意識・購買行動編≫資料編 P.29

≪美容意識・購買行動編≫資料編P.28

【男性】メイクアイテム購入率

	(%) 購入率	(pt) 前年差
15~69歳男性	11.3	1.0
15~19歳	16.7	0.5
20代	20.3	2.1
30代	16.8	5.0
40代	9.0	0.2
50代	4.2	▲1.1
60代	3.3	▲1.4

【男性】メイクアイテム購入率ランキング (20代、30代) ※TOP5

順位	20代男性	(%) 購入率	(pt) 前年差
1位	下地	13.9	2.7
2位	コンシーラー	13.3	4.0
2位	ファンデーション	13.3	3.8
4位	フェイスパウダー	12.4	2.8
5位	アイブロウ	11.9	2.3

順位	30代男性	(%) 購入率	(pt) 前年差
1位	下地	11.3	4.1
2位	コンシーラー	10.6	3.8
3位	口紅・グロス	9.7	3.4
4位	ファンデーション	9.4	2.2
5位	ハイライター・シェーディング	9.1	2.9
5位	アイブロウ	9.1	2.8

【研究員解説】男性メイクは引き続き20代男性が購入をけん引していますが、2022年は30代男性の購入率が前年から5.0ポイント上昇の16.8%と大幅増加！メイクの利用が、30代のビジネスパーソンに広がっていることがうかがえます。購入アイテムで昨年から最も増加したのは、20代は「コンシーラー」、30代は「下地」で、ベースメイクのアイテムを中心に利用者が広がっていることが推察できます。
(『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子)

POINT

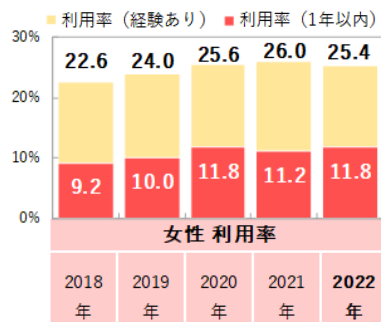
4

美容医療の経験者、女性は25%、男性は15%に。30代男性の利用率が増加！
1年間の平均施術費用は、男性が前年から大幅増加。女性18.7万円、男性11.4万円

≪美容医療編≫P.3

≪美容医療編≫P.4

【女性】美容医療利用率

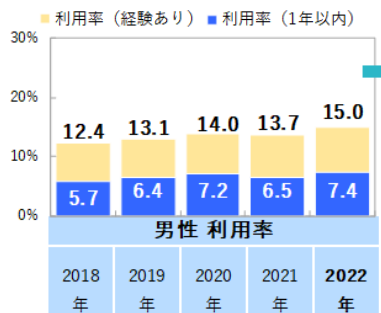


【男女】美容医療 1年間の施術費用

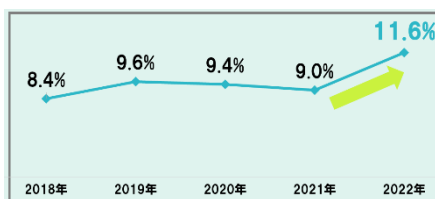
1年間の施術費用	女性		男性	
	2022年	前年差	2022年	前年差
美容医療・全体	18万6,931円	▲4,482円	11万3,730円	2万4,452円
医療脱毛	11万545円	5,724円	6万4,665円	3,501円
美容内科・美容皮膚科・美容外科	9万6,087円	▲1万1,717円	6万3,613円	1万6,939円
審美歯科・矯正歯科	25万9,746円	1万7,835円	9万6,333円	2万425円

※美容医療・全体：「医療脱毛」「美容内科・美容皮膚科」「美容外科」「審美歯科・矯正歯科」いずれか利用者をベースに集計。施術費用は全施術カテゴリの金額を合算

【男性】美容医療利用率



<30代男性・利用率 (1年以内)>



【研究員解説】男性の経験率・利用率が前年から上昇し、過去5年で最も高いスコアになりました。特に30代男性の利用率増加が顕著にみられます。メイクアイテムの購入率も30代男性が前年から伸びが大きく、ビジネスパーソン美容投資が増加していると考えられます。
(『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子)